



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 リビン・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 大無
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 部長 (氏名) 小林 翔太郎 TEL 03-5847-8556
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,800	-	125	-	127	-	74	-
2023年9月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 74百万円 (-%) 2023年9月期第2四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	55.50	55.43
2023年9月期第2四半期	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,163	1,510	69.8
2023年9月期	-	-	-

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 1,510百万円 2023年9月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	-	380	-	380	-	240	-	178.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2024年9月期第1四半期より連結決算に移行いたしました。2023年9月期は連結決算を行っていないため、「対前期増減率」については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	1,343,588株	2023年9月期	1,343,588株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	22株	2023年9月期	22株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	1,343,566株	2023年9月期2Q	1,343,466株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、円安の進行による物価高により、先行き不透明な状況であるものの、日経平均株価が史上最高値を更新する等、景気は堅調に推移しています。

当社グループを取り巻く情報サービス産業においては、各企業の業務効率化への意欲と、労働人口の減少による人員不足に伴い、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が求められています。DX推進の動きにより、生成AIやクラウドコンピューティングをはじめとした先端技術の重要性と情報サービス産業市場の拡大が増々加速していくものと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、中長期的な成長を見据え、2024年9月期を集中的に投資を行う期間と位置づけ、企業価値の向上に取り組んでおり、当第2四半期連結累計期間においては、新規事業と人的資本を中心に投資を実行いたしました。

新規事業への投資は、2023年11月1日にリビンDX株式会社を設立し、2024年1月1日を効力発生日として承継を行った外壁塗装業界DX化事業（ぬりマッチ）の広告宣伝費が中心となっています。人的資本への投資は、第1四半期に引き続き採用活動を積極的に推進し、特に高度デジタル人材の獲得に注力いたしました。

また、2023年12月20日に発行済全株式（自己株式を除く。）を取得し、子会社化した株式会社仲介王のPMIに取り組みました。PMIはPost Merger Integrationの略で、主にM&A成立後に行われる統合に向けた作業であり、M&Aの目的を実現させ、統合の効果を最大化するために必要なものです。当社グループは、経済産業省中小企業庁が実施する「令和4年度補正中小企業活性化・事業承継総合支援事業（小規模案件におけるPMI支援実証事業）」に参画しており、当該事業の成果が『PMI取組事例集』として2024年3月29日に経済産業省のホームページに掲載されました。詳細につきましては、2024年4月1日に開示いたしました「経済産業省中小企業庁の『PMI取組事例集』掲載に関するお知らせ」をご覧ください。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益1,800,915千円、営業利益125,436千円、経常利益127,900千円、親会社株主に帰属する四半期純利益74,565千円となりました。

なお、当社グループは、DXプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,163,203千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,030,103千円、売掛金607,163千円、投資その他の資産416,249千円であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、652,728千円となりました。主な内訳は、未払金254,765千円、1年内返済予定の長期借入金93,702千円であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,510,474千円となりました。主な内訳は、資本金194,295千円、資本剰余金163,295千円、利益剰余金1,152,987千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ111,821千円減少し、996,298千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は45,950千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益143,564千円の計上、未払金の増加額27,350千円があった一方で、法人税等の支払額90,427千円、新株予約権戻入益の計上15,618千円、未払消費税等の減少額15,030千円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は97,035千円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出50,000千円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出44,315千円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は60,737千円となりました。これは長期借入金の返済による支出60,737千円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より、2023年11月1日に設立したリビンDX株式会社、2023年12月20日に全株式を取得した株式会社仲介王を連結子会社としていることから、連結決算に移行しております。

なお、業績予想に関しましては、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました予想から変更はなく、連結決算に移行したことにより連結業績予想を個別業績予想と同額で開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,030,103
売掛金	607,163
その他	50,053
貸倒引当金	△10,031
流動資産合計	1,677,288
固定資産	
有形固定資産	19,336
無形固定資産	50,328
投資その他の資産	
投資有価証券	287,164
繰延税金資産	43,534
その他	86,309
貸倒引当金	△759
投資その他の資産合計	416,249
固定資産合計	485,914
資産合計	2,163,203
負債の部	
流動負債	
未払金	254,765
買掛金	1,471
1年内返済予定の長期借入金	93,702
未払法人税等	90,946
賞与引当金	2,000
その他	199,473
流動負債合計	642,358
固定負債	
長期借入金	10,370
固定負債合計	10,370
負債合計	652,728
純資産の部	
株主資本	
資本金	194,295
資本剰余金	163,295
利益剰余金	1,152,987
自己株式	△103
株主資本合計	1,510,474
純資産合計	1,510,474
負債純資産合計	2,163,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業収益	1,800,915
営業費用	1,675,479
営業利益	125,436
営業外収益	
受取利息	1,391
雑収入	281
その他	2,160
営業外収益合計	3,834
営業外費用	
支払利息	270
雑損失	1,100
営業外費用合計	1,370
経常利益	127,900
特別利益	
新株予約権戻入益	15,618
その他	45
特別利益合計	15,664
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	143,564
法人税、住民税及び事業税	68,998
法人税等合計	68,998
四半期純利益	74,565
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,565

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	74,565
四半期包括利益	74,565
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	74,565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	143,564
減価償却費	6,158
差入保証金償却額	1,598
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,780
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,500
受取利息	△1,391
支払利息	270
保険解約返戻金	△934
固定資産売却損益 (△は益)	△45
固定資産除却損	0
新株予約権戻入益	△15,618
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,674
仕入債務の増減額 (△は減少)	△411
未払金の増減額 (△は減少)	27,350
前払費用の増減額 (△は増加)	△7,699
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,049
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,030
その他	13,881
小計	129,688
利息の受取額	1,505
利息の支払額	△260
保険解約返戻金の受取額	5,444
法人税等の支払額	△90,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,150
有形固定資産の取得による支出	△900
有形固定資産の売却による収入	45
投資有価証券の取得による支出	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△44,315
差入保証金の回収による収入	2,599
その他	△1,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△60,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,737
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,821
現金及び現金同等物の期首残高	1,108,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	996,298

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間において、事業内容をより明確に表現するため、セグメント名称を「不動産プラットフォーム事業」から、「DXプラットフォーム事業」に変更しております。当該変更は、名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、当社グループは、DXプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、2024年3月15日及び2024年4月15日開催の取締役会決議に基づき、将来の持続的成長のために長期資金を確保し、財務基盤のより一層の安定を図る目的で、資金の借入を実行いたしました。その概要は次のとおりであります。

(1) 区分	長期借入金
(2) 借入先	株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行
(3) 借入金額	総額1,400,000千円
(4) 金利	変動金利
(5) 実行日	2024年4月1日から2024年5月1日
(6) 返済期間	5年間
(7) 担保の有無	無担保・無保証